



輝け！北っ子！

文責：校長 大内雅之

子どもたちの学びの保障／心と体の健康の保持にむけて

20日から、二本松市内の学校は「学校再開（授業日）」となります。給食もそれに合わせて再開。とてもうれしいことです。しかし、子どもたちに体力・精神的なことを考え、コロナウィルス対策を確認しながら進めるため、すぐに通常の全員一斉登校による学校生活を実施ということにはなりません。しばらく子ども達はこれまで通り、概ね半分に分かれて登校することになります。ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

さて、学校では、臨時休業期間中の学習の定着や遅れやへの対応、「3密」を回避しながら、心と体の健康の維持増進に向けて次のような手立てをとります。



① 学習補充時間の確保・実施

これまで、学校では学びの個人差に対応するために、休み時間や放課後など授業のすき間を縫って個別指導・補充等の時間をとり、学習内容の理解・定着に努めてきました。今回の長い臨時休業後では、これまで以上に個人差への対応が必要であると考えています。

そこで、時間をやりくりして、時間割の中に当面の間、

○ 全学年「学習補充の時間」を位置付け

ることとしました。実際には、個別指導の時間に充てたり、ドリルや小テストで定着度や習熟を図ったりする予定です。

② 業間時間の移動

通常、学校の多くは2時間目と3時間目の間の休み時間をいくぶん長くとる「業間時間」という時間を設けています。子ども達は、校庭にでて走り回ったり、遊具で遊んだりしながらリフレッシュしていました。しかし、大人数で一斉に校庭に出て、遊ぶということになるといくら屋外とは言え、「3密」が懸念されます。そこで、中・高学年の業間時間を移動し、3密回避を図ることとしました。



○ 中学年は3校時と4校時の間に

○ 高学年は1校時と2校時の間に設定します。※低学年は2校時と3校時の間のままです。

子ども達にとって、学校生活の中でも、長い休み時間「業間時間」は大きな楽しみの1つ。楽しみを残しながらも、3密を避ける策として考えてみました。

とにかく、今まで経験したことのない事態であり、どんなことをしたらいいかもわからない、未知の部分が多くあります。でも、「やってやれないことはない やらずにできるはずはない」の精神で、どんどんトライしていきたいと思っています。

保護者の皆様からの声をお待ちしています。

～学校に対するご意見・ご感想等、お気軽にお寄せください～

(または assist.nihonmatsukita-e@fcs.ed.jp まで)

----- 切 り 取 り 線 -----